

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより56号

(平成23年9月発行)

「ぱしふいっくびいなす」7月22日入港



「ぱしふいっくびいなす」

日本クルーズ客船株式会社所有

26,594トン、定員644名

全長：183.4m

前幅：25.0m

INDEX

- 平成23年度鳥取港振興会総会開催
- 海外ポートセールス実施
- 山陰3港連携勉強会開催
- 東海市長(韓国)鳥取港視察
- 「ぱしふいっくびいなす」鳥取港発着クルーズ
- 2012.4「砂の美術館」オープン
- サンセット・漁火クルーシング賑わう
- 鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり2011盛況
- 護衛艦「はまゆき」一般公開
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行：鳥取港振興会

平成23年度鳥取港振興会総会を開催

～「鳥取港外国貿易支援制度」の創設が承認される～

平成23年5月10日(火)、鳥取市末広温泉町の白兔会館において、会員55名(内委任状33名)の皆様にご出席いただき、平成23年度鳥取港振興会総会を開催しました。

理事会に引き続き開催された総会では、竹内会長(鳥取市長)の議事進行のもと、平成22年度事業報告及び収支決算報告、平成23年度の事業計画及び収支予算について、また役員(平成23年より任期2年)の選出につきましても審議され、原案どおりに承認をいただきました。

今年度の新たな取り組みとして、より多くの貨物を外国に輸出入するため、港湾荷役料の補助と港湾施設使用料を減免する、「鳥取港外国貿易支援制度」の創設が承認されました。

質疑では、会員から活発なご質問やご要望をいただきました。この要望等は、鳥取港発展に向け生かしていきたいと考えています。

また、総会終了後は、会費制の情報交換会を開催し、終始なごやかに会員相互の親睦を深めていただきました。



【鳥取港振興会新役員】(任期：平成23年5月10日～2年間) (敬称略)

役職	職名	氏名
会長	鳥取市長	竹内 功
副会長	鳥取商工会議所会頭	清水 昭允
副会長	日本通運(株)鳥取支店長	田中 和志
副会長	鳥取県県土整備部長	古賀 俊行
理事	倉吉商工会議所会頭	倉都 祥行
理事	三洋製紙(株)取締役社長	井川 和永
理事	鳥取県漁業協同組合代表理事組合長	景山 一夫
理事	鳥取市議会議長	中西 照典
理事	三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)代表取締役社長	大庭 功
理事	鳥取いなば農業協同組合代表理事組合長	谷口 節次
理事	日本興運(株)鳥取支店長	石川 秀彦
理事	岩美町長	榎本 武利
専務理事	鳥取県県土整備部空港港湾課長	森下 博
常務理事	鳥取市都市整備部長	大島 英司

平成23年度の主な事業計画 (抄)

平成22年3月鳥取自動車道開通により、関西・山陽方面との物流や交流に大きな変化が起きている。このチャンスを生かし、道路と港を有機的に結びつけるメリットを前面に出しながら、鳥取港貨物取扱量の増大を図る。また、観光振興、地域振興等の観点から鳥取港への寄港・発着を促すため、クルーズ客船の誘致を引き続き強力に行う。

本会は平成23年度に次の事業活動を行う。

1 ポートセールス活動

- (1) 会員企業及び鳥取県東中部等の企業を中心に、地元企業の鳥取港利用の掘り起こしを行う。
- (2) 無料の高速道路と港を結びつけたビジネスを展開できる関西・山陽方面の企業の鳥取港利用の増大を図る。
- (3) 環日本海諸国などとの継続的な外国貿易の取り組みを促し、アジア・ゲートウェイの港としての地位確立を目指す。
- (4) 鳥取県、鳥取市、関係団体と情報の共有化を図り連携して活動を行う。
- (5) 他港のポートセールス取組状況を調査し、参考となる方法を取り入れる。

2 クルーズ誘致活動

- (1) 「鳥取港クルーズ誘致推進会議」を中心に、関係機関と連携し、環日本海諸国など外国客船を含めたクルーズ客船の鳥取港寄港・発着を促す。
- (2) 鳥取港ならではのおもてなしの心を持ったクルーズ客船の受け入れを行う。
- (3) クルーズ企画担当者の積極的な招致。
- (4) 中国地方クルーズ振興協議会主催のクルーズフォーラム参加・情報収集。

海外ポートセールスを実施

鳥取市は、深澤副市長を団長にロシアウラジオストク市との友好交流を目的とした公式訪問団(総勢33名)を結成し、8月6日から10日までの日程で訪問しました。

深澤副市長には、プリモリエアフトランス社(沿海地方を拠点に物流・観光事業を展開)のゴロヴェンコ副社長、ウラジオストク市ウラジオミル観光局長に鳥取港利用をPRしていただきました。

この訪問団に当振興会事務局森下も同行、9日ストムマリン社(DBSクルーズウラジオストク代理店)を訪問し、コンスタンチン代表取締役と面会、鳥取港のPRと利用を働きかけました。



山陰3港連携勉強会を開催

鳥取港、境港、浜田港の各港湾振興担当者が、クルーズ客船誘致の共通認識を持ち、連携を図るため9月14日鳥取市で、15日は会場を松江市に移して「山陰3港連携勉強会」を開催しました。

勉強会には12名が参加し、日本海事新聞編集局事業部長 沖田一弘氏を講師に、「プレゼンテーション手法」と「外国籍のクルーズ客船誘致～船社動向と具体的活動」について学びました。

沖田氏は、今後中国からのクルーズ客船の就航が増えると予測。課題として、中国のクレジットカードが使用できる店舗の確保や中国語表記のほか、「おもてなしの心と人と人の温かい触れ合いで地域全体が外国人を親しく迎える雰囲気づくりが非常に重要である」とのアドバイスを受けました。



東海市長(韓国)が鳥取港を視察

「第17回環日本海拠点都市会議」が8月25日、26日の日程で鳥取市で開催され、鳥取市、米子市、境港市のほか、韓国や中国の4都市から代表者が集まり、日本海圏域の経済発展について協議されました。

会議終了後の27日、鳥取市と姉妹都市である東海市の金鶴基(キム・ハッキ)市長が鳥取港を視察され、当振興会森下専務理事、大島常務理事等の説明に真剣に耳を傾けられ、クルーズ客船の入港岸壁や入港支援制度など活発な質問をいただきました。

また、「韓国で何か出来ることがあればいつでも協力する。」との温かい言葉をいただきました。



「ぱしふいっくびいなす」鳥取港発着クルーズ

鳥取港発着の「秋田・佐渡クルーズ」と「山陰海岸ジオパーク遊覧&ランチクルーズ」が企画され、「ぱしふいっくびいなす」が7月22日、25日鳥取港に入港しました。

両日の岸壁での出港セレモニーでは、地元保育園児・高校生によるマーチングや地元の方々による郷土芸能を披露して、クルーズのお客様の壮途を祝いました。

秋田・佐渡クルーズ

県民の皆様にもクルーズを身近に感じていただきたいと、客船運航会社や旅行会社のご協力のもと「とっとり県民クルーズ2011」として「秋田・佐渡クルーズ」。

25日タラップを降りる400名を超えるお客様には、4日間のゆったりとした時間、ショー・料理・景色などを楽しみ、秋田・佐渡オプションツアーと豪華なクルーズ客船の旅を満喫された笑顔が溢れていました。

日程：7月22日9：30鳥取港出港、23日秋田港、24日両津港（佐渡）、25日10：00鳥取港帰港



入港盾贈呈後、恒川船長から記念品を受ける深澤副市長



逢鷲太鼓連の力強い演奏が出港を盛り上げました



賀露みどり保育園児による可愛らしいマーチング



宮坂流津山銭太鼓保存会鳥取連合「輝」の華やかな傘踊り

山陰海岸ジオパーク遊覧&ランチクルーズ

昨年、世界ジオパークに加盟した山陰海岸を遊覧しながらランチも楽しむ鳥取港初のデイクルーズは、企画が好評で締め切り20日前には定員600名となりました。

7月25日11：30鳥取港出港の4時間クルーズには、当振興会、鳥取県・鳥取市が協力し、船内でジオパークのパネル展示とシアターで解説も行いました。お客様は、爽快な青い海と変化に富んだ海岸線、そして豪華なランチという特別なひとときを満喫されていました。



パネル展示で貴重な地質遺産を紹介



軽やかな演奏を披露する鳥取商高吹奏楽部マーチングバンド

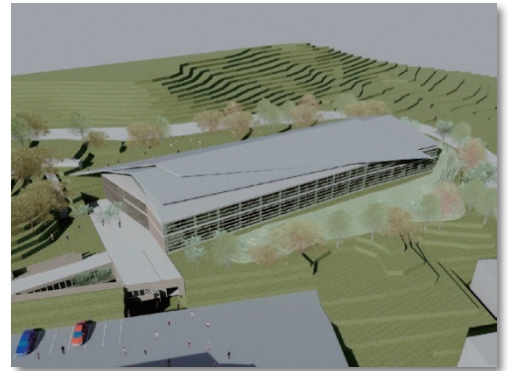
2012.4「砂の美術館」オープン

2012年4月、新生「砂の美術館」が「砂像のまち鳥取市」に誕生します。

砂の美術館は、2006年に第1期展をスタートさせて以来、100万人を超える方々が御来場しています。

この度、展示スペースを広げ作品数を増やし、もっと良好な環境の中で作品をご鑑賞いただくため、世界で初めてとなる全天候型の砂像展示施設が整備されることになりました。

開館前ではありますが、積極的なPRを客船誘致活動でしています。



サンセット・漁火クルージング賑わう

恒例となった賀露みなと観光協会（会長：山田哲彦氏）主催の「サンセット・漁火クルージング」が7月16日～8月15日まで開催されました。

期間中延べ10回の出港に、371名（うち子供33名）の方が乗船されました。

夏の夕暮れ時、潮風を浴びながら船上から眺める鳥取砂丘、日本海に沈む夕日を見て感動した後は、鳥取港周辺のお食事処で、地元の新鮮な魚介類を満喫でき大好評でした。

今後も多くの皆様に、サンセット・漁火クルージングでしか見られない美しい風景を見て感動していただきたいものです。



鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり 2011 盛況

NPO法人鳥取・賀露みなとオアシス（理事長：岸安志氏）主催の「鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり2011」が、7月18日（海の日）に、かにっこ館横広場で開催され、市内外から訪れた約3,000人の来場者で賑わいました。

真夏の日差しの中、巡視艇「とりかぜ」の乗船体験、こどもの魚つかみどり、かに釣り大会、ミニ自動車・ゴーカート乗車などで楽しむ親子連れの笑顔が鳥取港に溢れていました。



護衛艦「はまゆき」一般公開

7月16日（土）、17日（日）、護衛艦「はまゆき」（2,950トン 舞鶴第14護衛隊所属）の一般公開が、鳥取港1号岸壁で行われました。

様々な装備見学に写真撮影もできるため、多数の家族連れなどで艦内は賑わいました。

戦闘艦装備は、3連装魚雷発射管、アスロック8連装発射機（艦載用対潜ミサイル）、SH60対潜水艦ヘリなど、さすがは護衛艦です。迫力・威圧感は一見の価値がありました。

また、1982年進水後、30年経過しているにもかかわらず、サビなどがなく、よく整備されて大事に使用されていることを実感しました。



外国貿易支援制度(御案内)

コンテナ航路など定期航路のない鳥取港から、より多くの貨物を外国に輸出するために、鳥取港を利用して貿易を行う事業者の方に、鳥取港での港湾使用料の減免や港湾荷役料の一部を補助します。

●支援内容

(1) 港湾荷役支援

鳥取港での港湾荷役料の一部を補助します。

1 取引の港湾荷役経費×補助率 1/2 (補助上限500千円)

(2) 港湾施設使用料減免

「(1) 港湾荷役支援」を受けた補助事業者に対して、(1)の港湾荷役支援に加え、鳥取港を利用した同貿易に係る港湾使用料が減免されます。

岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を100%減免(最長10日間)

問合せ先：鳥取港振興会事務局



JCG 密輸(薬物・銃器)・密航

何かおかしいなと感じたら
118番
海上保安庁
緊急電話番号

118番は海上保安庁緊急電話番号です。

今後のスケジュール【鳥取港関係】

第31回全国豊かな海づくり大会

10月30日(日)

- ・式典行事 於 とりぎん文化会館
- ・海上歓迎・放流行事 於 鳥取港西浜地区

■問合せ先：TEL 0857-26-7678

鳥取県全国豊かな海づくり大会推進課

「鳥取かにフェスタ2011」

11月26日(土) 於 マリンピア賀露

■問合せ先：TEL 0857-20-3227

鳥取市観光コンベンション推進課

麻薬・けん銃などの密輸情報は税関へ!

「安全・安心な社会を目指して」

密輸ダイヤル(24時間受付)

0120-461-961

シロイ クロイ

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

TEL.0857-25-1115

編集後記

はじめまして、4月から事務局次長として勤務しております森下と申します。営業経験がなく、人前で話をすることの苦しい私にとって、クルーズ客船誘致のセールストークの難しさを痛感しております。

しかし、船社、旅行会社の方々のクルーズ話はとても楽しく、興味津々で思わず聞き入ってしまうことも幾度あります。

この楽しさを糧に、夢を膨らませながら営業に取り組んでいきたいと思っております。

何卒皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(森下)

鳥取港振興会新会員(敬称略)

— よろしくお願ひします —

組織名 **株式会社農協観光鳥取支店**

代表者 支店長 塚田 武志

所在地 鳥取市永楽温泉町 214

組織名 **株式会社エコ・ファーム鳥取**

代表者 代表取締役 奥井 和雄

所在地 鳥取市港町 62 - 1

鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町一丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL.(0857) 22-1836/FAX.(0857) 22-1848